

地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	穎娃おこそ会
役職	
氏名	原本太郎
着任日	令和3年4月1日

活動月	令和4年10月（着任1年7ヶ月）
主な活動	1. 番所鼻公園でのイベントの開催 2. OPEN PARK MEETUP/LAB の実施 3. 森の作業一木の遊具づくり 4. 視察・研修の受け入れ

1. 番所鼻公園でのイベントの開催

番所鼻公園でのキッチンカーイベント「絶景ごはん」の16回目を10/30に開催しました。今回は平成音楽会によるバイオリンとキーボードの演奏もあり、気候も良く多くの方にお越しいただきました。絶景と波の音の中での演奏は素晴らしく、公園の新たな一面を垣間見ました。今後、音楽のイベント等も本格的に実施したいと感じました。



10/23には「EIGO Molkky FEST」というモルックのイベントを開催しました。当日は15名の方が参加し、モルックやテントサウナを楽しんでいただきました。モルックは最近話題のニュースポーツですが、ほとんどの方が初めてで、これからさらに展開の可能性があると感じました。参加者からの満足度も非常に高かったです。11/20にも同様の内容で実施します。

▶ 11/20 申し込み： <https://forms.gle/tN85NMErGK5isaJh7>



2. OPEN PARK MEETUP/LAB の実施

額娃おこそ会で受託している地方創生推進交付金事業の一環で、10/19にOPEN PARK MEETUPの2回目を開催しました。今回は、公園を実際に歩いて、最近の動向やこれからの予定について確認し、その後、上條・福島都市設計事務所より公園のデザインについて発表してもらいました。今回は、これから公園でプロジェクトを進めていく上で大きな方向性や理想の形を共有できました。



またOPEN PARK LABの中で、公園を利活用してくれる団体・事業者の募集も開始しました。こちらは、募集から実施に至るまでの地元による企画・運営のサポート、実施費用の補助を、民間が主導で行うという新しい取り組みです。募集は12/31、実施期間は3/12までとなっています。

<https://forms.gle/7G4t1wo8irCy15No6>



3. 森の作業一木の遊具づくり

昨年度に引き続き、NPO 森と木の研究所さんとの協働で、公園内の保安林の環境改善と遊び場づくりを進めています。今回は植栽の管理（保護樹木の確認、竹抜根、除草など）と森の中に丸太登りとリスみちという県産木材を使った遊具を製作しました。また作業はおこそ会だけでなく、地元の福祉施設や市役所公園系のメンバーとも一緒に行い、多様な主体が関われるような森づくりを行っています。イベントでは新しくできた木の遊具で遊ぶ子供たちやデッキベンチで食事を楽しむ家族連れなど、新たな公園の風景として森が楽しく気持ちよく使われる様子が見られました。



4. 視察・研修の受け入れ

今月は、視察対応が多く、改めてこれまでのおこそ会の活動や公園のプロジェクトについて、見つめ直す機会にもなりました。10年以上かけて、地元のメンバーが行政や多くの関係者と連携しながら積み上げてきたものを、当時の担当者の話も聴きながら再確認できたことで、自分自身もこの土地やフィールドで活動できていることのありがたさや、今後、次に繋げていくという考え方を教わりました。



■ SNS

□ 番所鼻自然公園

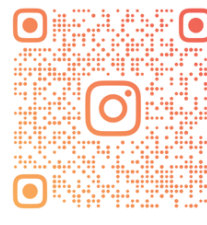


BANDOKOROBANA_PARK

Facebook ▶ 「番所鼻自然公園」

Instagram ▶ @Bandokorobana_Park
@agribits_farmersmarket

□ ふれあい瀬平公園



E.. UREAISEBIRAKOUEEN

Facebook ▶ 「瀬平ふれあい公園」

Instagram ▶ @eifureaisebirakouen

▼ 番所鼻自然公園での取り組みについて（2021年度活動報告動画）

https://www.youtube.com/watch?v=_XwIhNZWJfw